

石油資源を遠隔探知するためのハイパースペクトルセンサの研究開発 事業費

製造産業局宇宙産業室
資源エネルギー庁 資源・燃料部
石油・天然ガス課
鉱物資源課

令和5年度概算要求額 **5.5 億円** (4.7 億円)

事業の内容

事業目的

資源探査用衛星センサであるASTER（1999年打上げ）の後継機として国際宇宙ステーション（ISS）に設置したハイパースペクトルセンサHISUIで地球を観測し、資源探査分野等におけるデータ解析手法を確立することによって、我が国のエネルギー・資源の安定供給に貢献することを目的とします。

事業概要

ASTER センサでは10種類程度の地表鉱物の推定が可能でしたが、波長分解能を大幅に向上（バンド数：14→185）させたハイパースペクトルセンサHISUIでは30種類程度の鉱物の特定ができる見込みです。

本事業では、国際宇宙ステーション（ISS）に搭載した当該センサの維持管理、データを取得するための計画立案・運用、データ取得、ISSから地上へのデータの運搬、データの処理・配布、資源探査分野等におけるデータ利用実証、データ解析手法の確立等を行います。（委託）

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

国

委託

民間企業等



国際宇宙ステーションに搭載

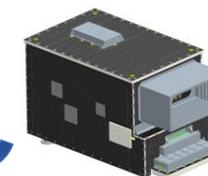
ハイパースペクトルセンサHISUI

分解能 : 20×31m

観測幅 : 20km

バンド数※ : 185

※観測可能な波長帯数



成果目標

平成19年度から令和5年度までの17年間の事業であり、本事業を通じて開発したセンサを令和元年度に国際宇宙ステーションに搭載しました。令和5年度には累計2,700シーンのデータを石油資源の探査等に活用することを目指します。